

教育センターだより

南砺市教育センター



子供の「心もち」を受け止めるということ

南砺市教育委員会 教育長 松本 謙一

話は、私がかつて小学校で1年生の学級を初めて担任した時のことです。私は、1年間の学級づくりの要として、今年は絵日記を1年間続けようと考えました。そして、『絵だけでもいいので、毎日かく』ということ学級の約束にしました。実際には、朝の会の後に教師が集め、給食後に赤ペンを入れ、帰りの会の前に返す、これを1年間繰り返すのです。



ある朝、「おはよう」と教室に行くと、いつもわんぱくなA君が、「先生、今日、何時に日記を集めるの？」と聞きに来ました。私は「朝の会が終わったら集めるよ。」と答えました。そして、朝の会で集め、給食を食べてからいつもの日課で読んでいました。

ここでようやく、今朝、なぜA君が「いつ日記を集めるの？」と聞いてきたのか、気付くことができました。いつもは、絵は黒でしか描かないし、文も乱暴な文字で3行ぐらしか書いてこなかったA君が、その日はちゃんと色鉛筆で絵を描き、しかも、文字も丁寧にいっぱい書いていたのです。

「先生、何時に集めるの？」と言ったのは、集める時間を聞いたかったわけではなく、「今日、早く読んで！」と叫んでいたのです。その意味を担任である私は全く理解できていなかったのです。A君の『いつ？』という問いには答えていますが、こんな対応なら担任でなくても、隣の友達に聞いても同じようにできるのです。

では、子供の聞き方が悪かったから仕方がないことなのでしょう。教師たるもの、「自分が集め忘れたのなら、分かる。いつも集める時刻になっていないのに、なぜ聞いてきたのか。」そのことを不思議だなど考える力量が必要なのです。A君は、「いつも日記を集める時刻の前に尋ねる」という、自分の思いを伝えるサインを、教師にきちんと送っていたではありませんか。A君の思いを察することができなかつたとしたら、「どうしてそんなことを、今聞くの？」と質問すればよかった・・・あるいはもっと余裕があったら、「そんなことを聞くのは、もしかして一生懸命書いてきたが？ 見せてよ。」と問いかけることで、その場で日記に目を通すことができたかもしれません。そして、「先生、うれしいわあ！ 今日こんなに頑張ったんだね！」とうれしさを伝えることができたなら、その子は「学校へ来てよかった」と思えたはず。もう朝から幸せいっぱいです。

何をしているか、何を言っているかではなく、なぜそんなことをしているのか、なぜそういうことを言ってくるのか、子供の「心もち」こそ大切にしようではありませんか。

なかなかきちんと表現できない子供たちだからこそ、大人の対応一つで、その幸せを大きく膨らませることができるのです。

令和4年度 砺波地区教育センター協議会 準協業研修

「学級づくり研修会」について

日 時：令和4年4月14日（木）15:30～16:30

会 場：砺波市立鷹栖小学校

講 師：南砺市教育委員会 教育長 松本 謙一 先生

演 題：「聴き合える」集団づくり

「子供も教師も、互いに『聴き合える』集団をつくるために大切なこととは？」松本先生のこれまでの実践を交えながら、ご指導いただきます。特に小学校低学年の担任の先生や若手の先生にご参加いただきたい研修会です。

研修要項等は3月中に各学校にお送りします。
(新年度になりましたら改めてお送りします。)
たくさん先生方のご参加をお待ちしています。

ICT活用研修会

- 日時／会場：【小学校】令和3年11月16日（火）14:30～16:30／南砺市立福野小学校
【中学校】令和3年11月 9日（火）14:30～16:30／南砺市立吉江中学校
- 講師：【講演】富山大学大学院 教職実践開発研究科 准教授 長谷川 春生 先生
【演習】ICT推進委員《小・中》笹谷 和生 先生（井波小）
《中》山本 佳和 先生（吉江中）《小》越村 晃吉 先生（福野小）
- 参加者：【小学校】20名 【中学校】8名
- 内容：講演、演習、情報交換

◆ 講演「授業における一人一台端末の活用について」

- ・一人一台端末の効果的な活用について、積極的に活用している学校の事例を紹介していただいた。「前時の板書を撮影、保存しておくことで、学習の想起が容易にできる」「授業の中で子供たちが活用できそうな資料をあらかじめ集約しておく」など、今後の授業実践で生かせる事例がいくつもあった。
- ・タブレット端末の活用に目が行きがちだが、ノートを併用することで子供の思考はさらに深まる。つまり、「紙」と「クラウド」のハイブリッドな活用を考えていくことが重要である。



◆ 演習「すぐに使える！タブレット活用法」

- ・TeamsとSKYMENU Cloudを活用した実践事例を紹介していただき、端末を使って実際に体験した。ExcelやPowerPointでの共同編集作業や付箋アプリの活用、SKYMENU Cloudの様々な機能について、実際の授業場面を想定しながら体験することができた。



<参加者の感想より>

- ・長谷川先生のお話を聞き、タブレットを活用する段階から、タブレットと紙ベースの両方を活用する段階へと変わっていることを強く感じました。また、今まではタブレットを教師の範囲内で触らせていましたが、リンクから自分たちで情報を探りに行く段階に入っていることが衝撃でした。まだまだ、活用をしていかなければいけないなど強く感じました。
- ・演習では、実践事例を紹介してくださったことで、自分の学級だったらどのように活用できるかイメージしやすかったです。小1の担任をしているので、タブレットを使った授業展開になかなか踏み込めなかったのですが、「これならできそう」というものが見つかり、やってみたいという気持ちになりました。

授業力向上研修会

- 期間：令和3年6月～令和4年1月
- 会場：南砺市立城端中学校、南砺つばき学舎、平中学校、福野小学校
- 指導助言者・コーディネーター：南砺市教育委員会 教育長 松本 謙一 先生
- 授業者：8名
- 内容：事前研修、公開授業、事後研修を通して、授業力向上を目指す。



- ・今年度は市内小・中・義務教育学校のうち、4校8名の先生方が授業を公開した。校内研修を兼ねた事後研修会では、参観した先生方が、授業中の子供の発言等をもとに「よかった点」や「課題」について、活発に話し合う姿が見られた。
- ・令和4年度は、他の学校においても同様の研修会を実施し、「子供の発言の捉え方」「授業の組み立て方」を学ぶ機会とする予定にしている。

令和4年度の学校訪問研修に向けて

2月18日（金）に、西部教育事務所と南砺市教育委員会、南砺市教育センターで、今年度の学校訪問研修の振り返りを行いました。その際に話題となったことをご紹介します。来年度の学校訪問研修や日々の授業改善に向けて、参考にいただければ幸いです。

- どの学校においても、昨年度の成果と課題をもとに、創意を凝らした「チーム担任制」の推進が図られていた。今後も地域、学校の規模、校種等に応じた「チーム担任制」の、より一層の充実が図られることを期待する。
- ICTを積極的に活用した授業が行われ、子供の学びに有効にはたらいっている場面が多々見られた。ICT活用については、①「使用する」、②「利用する」、③「活用する」というレベルがある。教員一人一人が自分のレベルに応じた活用を推進し、「個別最適な学び」「協働的な学び」が充実していくことを期待する。
- 今後の学習をさらに充実させるために、①「育成を目指す資質能力の明確化」と②「多様な言語活動による学び合い」について、校内での研修を進めていくことが大切である。

NYT（南砺市若手教師）道場の活動

今年度は、市内の小・中・義務教育学校から56名の若手教員の参加があり、校種や経験年数を超えて交流することができました。運営に携わっていただいた6年次の先生方、会員の参加にご配慮いただいた各学校の先生方には心より感謝いたします。



第2回（11/22）
「スポーツの秋！NYTレクリエーション大会」（ビーチバレー）



第3回（1/12）
「先輩から学ぶ～『I'm OK, You're OK』の関係づくり～」

<参加者の感想より>

- スポーツ（レクリエーション）を活動に取り入れたことで、若手教員同士の親睦を深めることができよかった。（第2回）
- 自分の学級で活かそうなことを教えていただけだったので、参加してよかったと感じた。（第3回）
- 他校の先輩の先生方と関わる機会が他に少ないため、とても貴重な経験ができた。
- 6年次として会を運営していく中で、研修会の進め方や講師への対応等が勉強になった。

※ 全3回の活動を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響で1回目が中止となりました。

調査研究委員会

今年度、4つの調査研究委員会を立ち上げ、資料の作成、情報発信等の活動に取り組みました。委員の先生方、1年間ありがとうございました。

委員会名	活動内容	成果や課題
社会科資料委員会 (中学校)	中学校社会科資料「身近な地域の学習－歴史編－」、「郷土の地形図（地図）」の改訂、印刷 (令和4～6年使用)	・新しい教科書の内容、装丁に合わせて改訂を行った。 ・「塩硝づくり」のイラストを新しくした。
理科資料委員会 (小学校)	小学校6年理科資料「大地のつくり」の改訂、印刷 (令和4～6年使用)	・写真を現在のものに変更し、パノラマで地層の様子が分かるようにした。 ・動画資料を市教セのサーバーにおいた。
体力づくり委員会	新体力テストの調査協力、体力づくり対策推進について、今後3年間の見通しをもつ。 (体力調査報告書は市教セで作成)	・南砺市の児童生徒の課題である「走力」の向上を目指し、R2年度作成の「走力向上のための手引き」の活用を推進していく。
ICT推進委員会	ICTを活用した授業実践推進のための「ICT活用事例集」の作成	・「Teams」「SKYMENU Cloud」を活用した実践例を紹介した事例集を作成した。 ・活用しやすい事例集になるよう、動画を取り入れる、学習場面に沿った事例集にするなど、今後、検討していく。

今年度も、市教育センターの諸活動にご理解とご協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。これからも、先生方のご要望を一層反映できるよう努めていきたいと思っております。さらなるご理解とご協力をお願いいたします。